

第2学年 国語科

教科目標

- ① 相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てます。
- ② 経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てます。
- ③ 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てます。

学習計画

月	単元・題材名	時間	書写	学習活動
4	○ はっきりとした声で読もう			
	・ かくれんぼ	8	3	・ はっきりとした声で、すらすらと声に出して読む。
	・ としょかんへいこう	1		・ 図書館の利用の仕方を知り、本を読む。
	・ 「お話カード」を書こう	4		・ 読んだ本について、簡単な感想を書く。
5	○ 書いてあることを正しく読もう			
	・ たんぼぼ	12	4	・ 片仮名で書く言葉についてまとめ、正しく使う
	・ ことばで絵をつたえよう	4		・ 順序に気をつけて読み取る。
	・ よく見て書こう	5		・ 大事なことを落とさずに順序よく説明する。
6	○ ばめんに気をつけて読もう			
	・ お手紙	15	4	・ 観察して、気づいたことをくわしく書く。
	・ まよい犬をさがせ	4		・ 漢字の筆順と画数について理解する。
	・ 組みあわせたことばをつかおう	4		・ 場面ごとに人物のしたことや気持ちに気をつけて、お話を読む。
7	○ せつめいの文をくらべて読もう			
	・ ふろしきは、どんなぬの	12		・ 必要なことを落とさないように聞いて、メモを取る。
	・ できるようになったよ	10	3	・ 複合動詞の構成や意味を理解し、言葉への関心を深める。
	・ なかまになることばをあつめよう	4		・ 二つの説明の文を比べて、違いを考える。
9	○ しを読もう			
	・ いろいろなおとのあめ	2	4	・ 順序に気をつけて文章を書く。
	・ 空にぐうんと手をのぼせ	2		・ 仲間になる言葉に関心をもち、言葉を集めたり分類したりする。
	・ かんじたことを	2		・ 読書の楽しさを理解し、自分の興味に合わせて本を選んで読む。
10	○ 人物のようすや気持ちに気をつけて読もう			
	・ 話したいな、とくいなこと	7		・ 詩を声に出して読み、言葉の響きを楽しむ。
	・ 「ありがとう」をつたえよう	4		・ 詩を声に出して読み、言葉の響きを楽しむ。
	・ 言いつたえられているお話をしろう	6		・ 感じたことや思ったことを詩に書く。
11	○ どうぶつのひみつをみんなでさぐろう			
	・ いろいろなこと	7		・ 聞く人に伝わるように順序よく話す。友達の話に興味をもって聞く。
	・ ビーパーの大工事	20	4	・ 伝えたいことを簡単な手紙に書く。
	・ 聞き合おう、みんなのたからもの	7		・ 神話や伝承を聞いたり、自分で読んだりし、おもしろかったところを友達に発表し合う。
12	○ じゅんじょをかんがえてせつ明しよう			
	・ 二年一組、はつ明じむしょ	13	3	・ 場面面に気をつけて、人物の様子や気持ちを読み取る。
	・ 主語とじゅつ語に気をつけよう	4		・ 絵から想像を広げて、お話を書く。
	○ むかし話を楽しんで読もう			・ 音節と文字との関係や、アクセントによる言葉の違いについて理解する。
1	○ おばあちゃんに聞いたよ			
	・ かさこじぞう	18	4	・ だいたい言葉を探しながら、順序に気をつけて読み取る。
	・ おばあちゃんに聞いたよ	6	2	・ 一つの話について、知りたいことを尋ねて話し合う。
	・ 考えたわけを書こう	4		・ 書くことを整理し、順序を考えて書く。
1	○ おばあちゃんに聞いたよ			
	・ おもしろさを見つけながら、いろいろな昔話を読む。			
	・ 昔から伝わるいろいろな言い方について知り、声に出して読む。			
	・ 考えたこととその理由を文章に書く。			

2	○ 分かりやすくせつ明しよう ・「おもちゃまつり」へようこそ ・おくりがなに気をつけよう	15	2	・ 聞く人によく分かるように、順序よく説明する。 ・ 送り仮名について理解し、送り仮名に注意しながら正しく漢字の読み書きをする。
		4		
3	○ 虫について知ったことをもとに考えよう ・ 虫は道具をもっている ・ 「思い出ブック」を作ろう ・ はんたいのいみのことば	14	2	・ 似ているところと違うところに気をつけて読む。 ・ これまでに書いた文章や詩を読み返し、1年間の思い出を文章や詩に書く。 ・ 反対の意味を表す言葉に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりする。
		8		
	○ お話を紙しばいにしよう ・ ニャーゴ	4		
		17		・ 場面に気をつけて、読み取った人物の様子や気持ちが伝わるように紙芝居をする。
授業時数の合計		315 時間		

国語科の評価

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、進んで話したり聞いたり書いたり、楽しんで読書したりしようとする観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表内容、発表の様子 ・ 学習中の様子 ・ 日記 ・ 音読の様子 総合的に評価します。
話す・聞く能力	相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないように聞いたり、話題に沿って話し合ったりしているかどうかという観点から見ます。	
書く能力	経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書いているかどうかという観点から見ます。	
読む能力	書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりして本や文章を読んでいるかどうかという観点から見ます。	
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に触れたり、言語の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく丁寧に書いているかどうかという観点から見ます。	